

地域のリスクを知り、備える ちば地震防災ガイド

千葉県中央部地域に
お住まいのみなさん
「震度6強」の地震への備えは
できていますか？



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

千葉県内ではどこでも「震度6強」の揺れが起こる可能性があります。

「立ってられないような激しい揺れ」が発生！その時、何が起きる？

古い木造建物（昭和56年以前
に建てられ、耐震補強がされて
いないもの）の多くが倒壊



建物や家具・家電が倒れて
下敷きになり、そのまま火災に
巻き込まれる

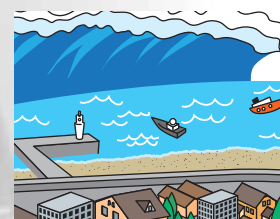


建物が密集している場所では火災による延焼が
止まらない

多くの地域で停電・断水し、食事や風呂、トイレなど
が不自由に

海での地震の場合、沿岸部に
津波が襲ってくる恐れ

（一般にマグニチュード7以上の地震の場合、
津波が発生する恐れがあります）

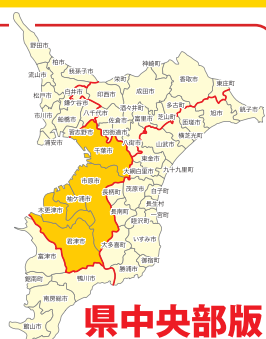


埋立地や河川周辺で液状化が発生する地域も

外出先から家に帰れない！
居場所がない！
あなたも「帰宅困難者」に



停電や通信規制の影響により、電話がつながり
にくくなる



【本ガイドの主な対象エリア】
千葉市、木更津市、市原市、
君津市、袖ヶ浦市



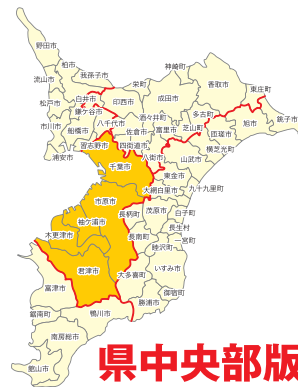
次のページから、
お住まいの地域のリスクと
対策を確認しましょう





お住まいの**地域**の**リスク**を知ろう

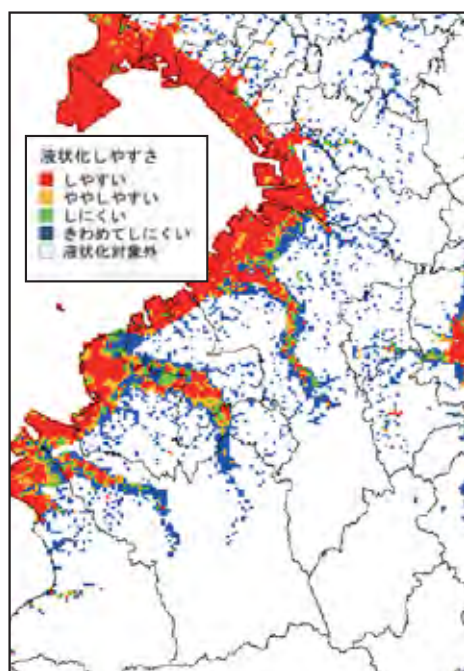
千葉県では、平成26・27年度に新たな地震被害想定調査を実施しました。ここでは、その調査結果やこれまでの県の取組みを基に、地震による**地域のリスク**を紹介しています。事前にリスクを知り、備えにつなげましょう。



県中央部版

【液状化しやすい？】

県中央部地域では、**東京湾沿岸の埋立地を中心に、液状化しやすい地域が広がっています**。下の図は、震度6強の揺れがあった場合の液状化しやすさを評価したマップです(液状化対策は考慮していません)。

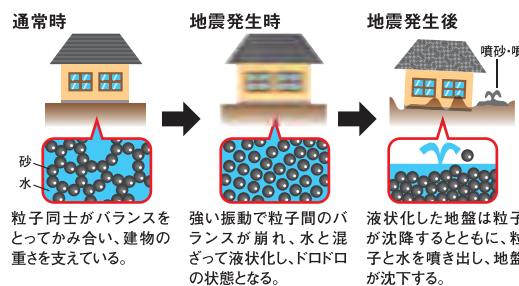


液状化しやすい地域

埋立地や河川沿いなど、砂地盤で地下水位が高い場所では、強い揺れにより液状化現象の発生が懸念されます。

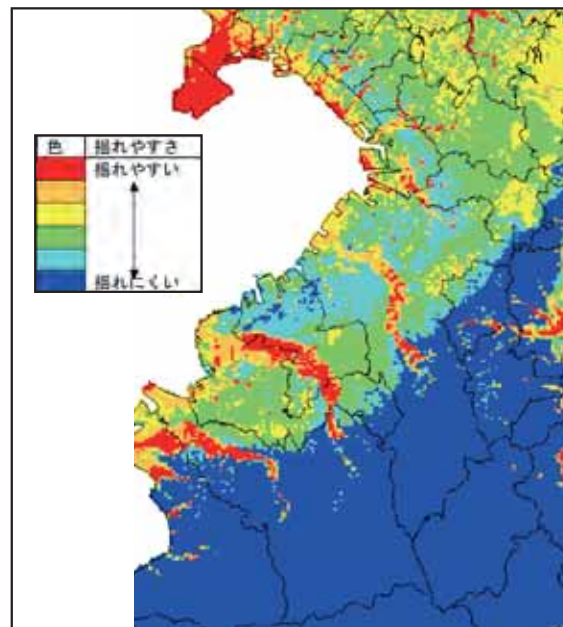
液状化により、地下の上下水道管やガス管、地上の電柱・電線が被害を受け、ライフラインが途絶する恐れがあります。また、道路の隆起や陥没、マンホールの浮き上がりなどにより道路通行が困難になる恐れがあります。

●液状化のメカニズム



【揺れやすい？】

県中央部地域では、**東京湾沿岸の埋立地を中心に、やや揺れやすい地域が広がっています**。下の図は、地震が起きた際の地域の揺れやすさを評価したマップです。



【石油コンビナート地区はどうなる？】

東京湾沿岸には、千葉県の産業の要でもある**石油コンビナート地区**が広がっています。これらの施設は、想定される揺れや液状化に備えて設計されており、また、出火や爆発を防ぐ**防災体制が整備されています**。

一方で、東日本大震災では、大規模な火災、爆発が発生し、近隣の住宅の窓ガラスが割れるなどの被害が発生しました。

もし、地震によりコンビナート火災が発生したとしても、落ち着いて身を守りながら行動することが大切です。



【帰宅が困難に】

鉄道の利用者が多い県中央部地域では、鉄道の運行停止により、多くの方が帰宅困難者となります。

駅周辺の施設や道路には人があふれ、徒歩による帰宅は集団転倒などの危険性が伴います。

また、道路上は損壊した建物や落下物、火災などの影響により危険な状態となっている恐れがあります。



【津波の程度は？】

東京湾口(房総半島洲崎)で約10mの津波が発生した場合、**最大約3m程度の津波**が押し寄せる恐れがあり、沿岸部にお住まいの場合すみやかな避難が必要です。



「ちば地震被害想定ホームページ」を活用して、地域の特徴を詳しく調べてみよう

「ちば地震被害想定ホームページ」では、お住まいの地域の「揺れやすさ」や「液状化しやすさ」を地図上で詳しく確認できます。また、その土地がどのような土地であるのか(台地、盛土・切土、明治期の水田など)も確認できます。その他、液状化への備えや被害想定調査の詳細な内容など、様々な情報がありますので、ぜひご活用ください。

ちば 地震被害想定 検索



「液状化しやすさ」マップ



「地形からみたリスク」マップ

〈URL〉 <http://keihatsu.bousai.pref.chiba.lg.jp/higaisoutei/index.html>

